

五目並べプログラム

五目並べのプログラムを作ってみよう！
プログラムの仕様は以下の通りとします。

仕様

- 盤面の大きさは13x13とします。
- 黒をo,白をxとします。
- 黒番から始めるものとし、交互に打ちます。
- 禁じ手については考慮しないものとします。
- 5個以上の石を並べることができた側を勝利とします。

メモ

- 一定の機能ごとに関数化して、1関数1ファイルとして切り分けしながら作ってみよう。
- コンパイルはmakeコマンドを使います。

出力例

あくまで例なのでもっと見やすい方法とか模索してもいいよ！

```
> 白番(x)です

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13
  1
  2
  3
  4
  5
  6
  7          o x x x x
  8      x o o o o
  9
 10
 11
 12
 13
> 打ちたいマスを指定してください(x y) => 11 8
```

> 黒番(o)です

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

1

2

3

4

5

6

7 o x x x x

8 x o o o o x

9

10

11

12

13

> 打ちたいマスを指定してください(x y) =>